

平成 24 年度 文化庁委託事業
諸外国の文化政策に関する調査研究
(平成 26 年度一部改訂)

諸外国の文化予算に関する調査
報告書

平成27年3月

株式会社 野村総合研究所

第1章 本調査研究の概要	5
第2章 各国の文化予算の比較	7
2-1. 各国の文化予算額	8
2-2. 各国の文化予算額の推移	9
第3章 イギリスの文化予算	13
3-1. 政府の全体像	14
3-2. 文化予算の概要	16
1) 文化・メディア・スポーツ省	16
2) アーツ・カウンシル	19
第4章 アメリカの文化予算	23
4-1. 政府の全体像	24
4-2. 文化予算の概要	25
1) 全米芸術基金	25
2) その他の文化組織	27
第5章 ドイツの文化予算	29
5-1. 政府の全体像	30
5-2. 文化予算の概要	31
第6章 フランスの文化予算	33
6-1. 政府の全体像	34
6-2. 文化予算の概要	35
第7章 中国の文化予算	37
7-1. 政府の全体像	38
7-2. 文化予算の概要	39
第8章 韓国の文化予算	41
8-1. 政府の全体像	42
8-2. 文化予算の概要	43
1) 文化体育観光部	43
2) 文化財庁	44

第1章 本調査研究の概要

○背景と目的

文化庁では、平成24年度に海外文化振興施策の現状について基礎的な情報を収集し、わが国の今後の施策の立案および充実に資することを目的として「諸外国の文化政策に関する調査研究」（受託：野村総合研究所）を行った。

今回、上記調査研究を踏まえ、対象6ヶ国の政策的な変化や日本の相対的位置を確認することを目的として、文化予算の最新の状況（平成26年度）について、調査研究を行った。

○調査対象国・調査項目

イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、中国、韓国の6ヶ国を対象として、主に文化担当組織の予算額とその内訳の概要、推移、政府予算に占める割合について調査を行った。

○調査手法

基本的には各国の政府のWebサイトで公開している情報を基に作成した。

文化予算の算出においては、「諸外国の文化政策に関する調査研究」との一貫性を重視し、極力同じ情報源や定義を用いた。しかし、新たな情報源や定義を用いた方が正確に実態を表現できると判断された場合のみ変更を行った。

○本報告書における表記

金額での表記において、各国の通貨を日本円に換算する際には次のレートを採用した。

・USDドル	:118.77円	・ユーロ	:135.35円
・ポンド	:182.89円	・ウォン	:0.1075円
・元	:19.00円		

※2015年1月1日現在の為替レートを計算

出所) 財務省「関税定率法第4条の7に規定する財務省令で定める外国為替相場」を基に野村総合研究所作成

また、各金額については単位をあわせるために四捨五入をして表記している。また、合計額については、各金額の四捨五入前の額を足し上げた後に四捨五入しているため、四捨五入後の各金額の合計額と異なる場合がある。

○調査研究体制

本調査研究は㈱野村総合研究所の以下の体制で実施した。

- ・綿江 彰禅 公共経営コンサルティング部 主任コンサルタント（主担当）
- ・小松 康弘 公共経営コンサルティング部 グループマネージャー

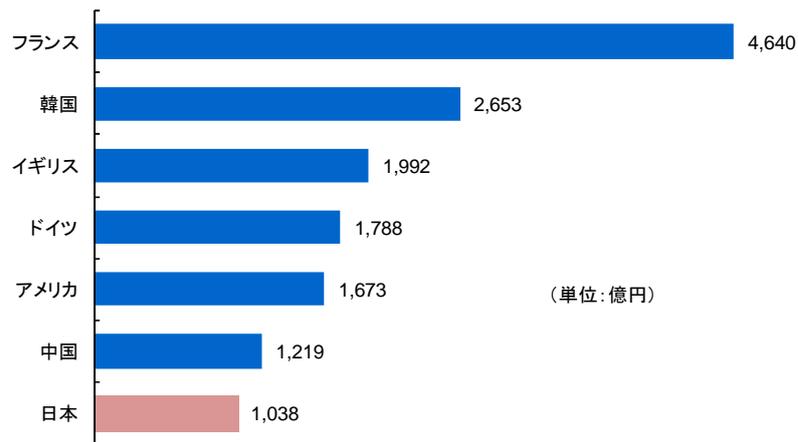
第2章 各国の文化予算の比較

2-1. 各国の文化予算額

本調査対象国の2015年度の文化予算額を示したものが図表・1である。また、各国の国家予算に占める文化予算額の割合を示したものが図表・2である。

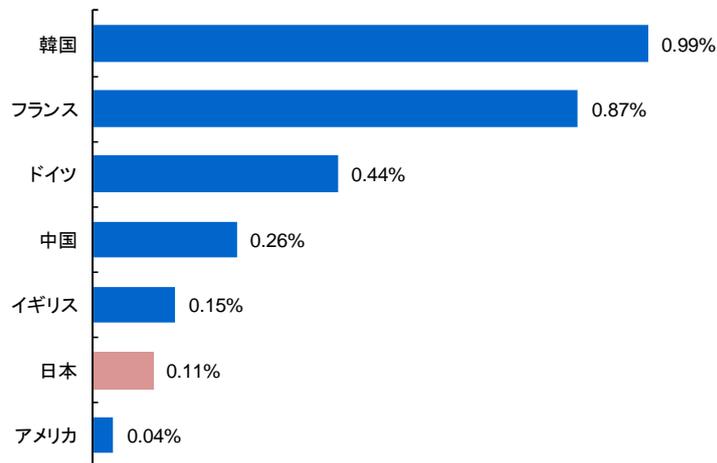
日本の文化予算額は7カ国中最も少なく、文化予算が国家予算に占める割合は下から2番目に位置していることがわかる。

図表・1 各国の文化予算額の比較（2015年度）¹



出所) 各種公開資料より野村総合研究所作成

図表・2 各国の文化予算が国家予算に占める割合の比較（2015年度）²



出所) 各種公開資料より野村総合研究所作成

¹ 地方政府も含めた予算については、前回調査時に参考値として掲載しているため、同調査を参照のこと。

² 経済規模との比較として GDP を分母に取ることも考えられるが、調査の一貫性を重視し割愛している。

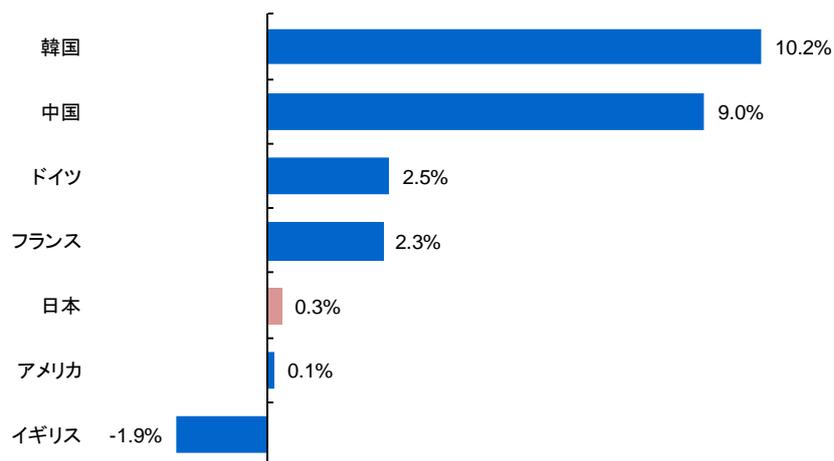
図表・3 各国の文化予算額・割合・定義

国名	予算額 (億円)	国家予算額 に占める 割合 (%)	定義
イギリス	1,992	0.15%	文化・メディア・スポーツ省予算より、観光およびスポーツ予算を除いたもの
アメリカ	1,673	0.04%	スミソニアン機構、博物館・図書館サービス機構、全米芸術基金 (NEA)、ナショナル・ギャラリー、ジョン・F・ケネディ・センターの予算の合計
ドイツ	1,788	0.44%	文化・メディア庁の予算
フランス	4,640	0.87%	文化・コミュニケーション省の予算
中国	1,219	0.26%	文化部の予算
韓国	2,653	0.99%	文化体育観光部の一般予算における「文化芸術分野」、「文化・観光・一般分野」の予算と文化財庁の予算の合計
日本	1,038	0.11%	文化庁の予算

出所) 各種公開資料より野村総合研究所作成

2-2. 各国の文化予算額の推移

各国の2008~2015年度までの文化予算の変化率を示したものが図表・4である。近年、日本の文化予算は微増傾向であったが、韓国や中国ではそれ以上に大きな増加傾向にあったことがわかる。

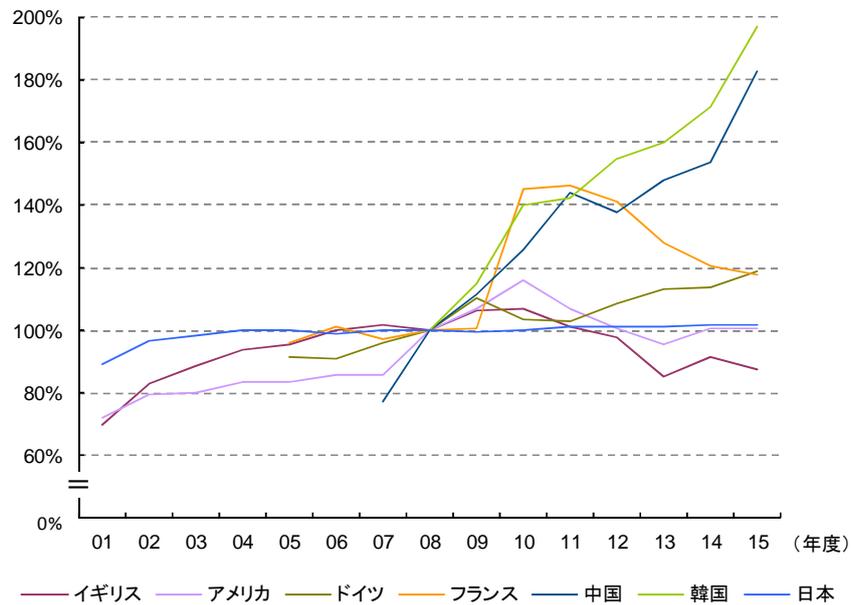
図表・4 各国の文化予算額の年変化率 (2008~2015年度の過去7年間)³⁴

出所) 各種公開資料より野村総合研究所作成

³ アメリカはNEA単独の値である。また、フランスでは2010年度から担当省庁の職務範囲が拡大し、中国も2015年度から予算の区分を変更しているため純粋には比較できないことに留意されたい(同じ定義で比較できるフランスの2010~2015年度のあいだの年成長率は+4.1%、中国の2008~2014年度のあいだの年成長率は+7.4%となる)。

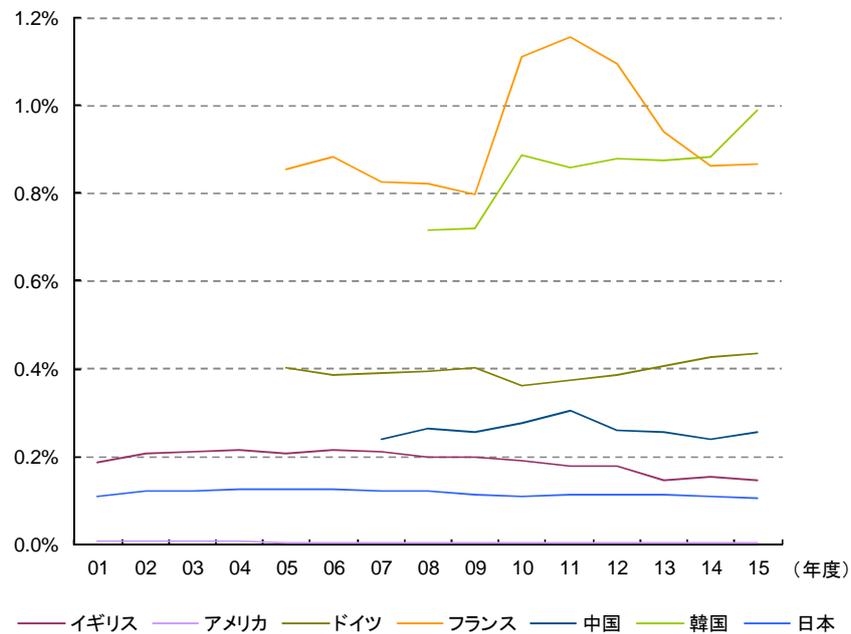
⁴ 2008~2014年の各国の消費者物価指数(Consumer price index)の変化率は韓国:+15%、中国:+16%、ドイツ:+8%、フランス:+7%、日本:+1%、アメリカ:+10%、イギリス:+18%である。

図表・5 各国の文化予算額の推移（2008年度を100%とした際の推移）⁵



出所) 各種公開資料より野村総合研究所作成

図表・6 各国の文化予算額が国家予算全体に占める割合の推移



出所) 各種公開資料より野村総合研究所作成

⁵ アメリカはNEA 単独の値である。また、フランスでは2010年度から担当省庁の職務範囲が拡大し、中国も2015年度から予算の区分を変更しているので純粋には比較できないことに留意されたい。

図表・7 各国の文化予算額と国家予算全体に占める割合の推移

	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
イギリス (百万ポンド)	871 0.18%	1,029 0.21%	1,103 0.21%	1,166 0.21%	1,186 0.21%	1,243 0.21%	1,267 0.21%	1,242 0.20%
アメリカ (百万ドル)	105 0.006%	115 0.006%	116 0.005%	121 0.005%	121 0.005%	124 0.005%	125 0.005%	145 0.005%
ドイツ (百万ユーロ)	- -	- -	- -	- -	1,018 0.40%	1,011 0.39%	1,066 0.39%	1,111 0.39%
フランス (百万ユーロ)	- -	- -	- -	- -	2,805 0.85%	2,947 0.88%	2,839 0.82%	2,915 0.82%
中国 (百万元)	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2,723 0.24%	3,513 0.26%
韓国 (十億ウォン)	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1,253 0.71%
日本 (億円)	909 0.11%	985 0.12%	1,003 0.12%	1,016 0.12%	1,016 0.12%	1,006 0.13%	1,017 0.12%	1,018 0.12%

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
イギリス (百万ポンド)	1,325 0.20%	1,330 0.19%	1,255 0.18%	1,212 0.18%	1,057 0.15%	1,134 0.15%	1,089 0.15%
アメリカ (百万ドル)	155 0.004%	168 0.005%	155 0.004%	146 0.004%	138 0.004%	146 0.004%	146 0.004%
ドイツ (百万ユーロ)	1,225 0.40%	1,150 0.36%	1,146 0.37%	1,204 0.39%	1,261 0.41%	1,267 0.43%	1,321 0.44%
フランス (百万ユーロ)	2,941 0.80%	4,227 1.11%	4,261 1.16%	4,121 1.09%	3,724 0.94%	3,515 0.86%	3,428 0.87%
中国 (百万元)	3,923 0.26%	4,421 0.28%	5,048 0.31%	4,835 0.26%	5,194 0.25%	5,402 0.24%	6,416 0.26%
韓国 (十億ウォン)	1,442 0.72%	1,751 0.89%	1,781 0.86%	1,936 0.88%	2,007 0.87%	2,148 0.88%	2,467 0.99%
日本 (億円)	1,015 0.11%	1,020 0.11%	1,031 0.11%	1,032 0.11%	1,033 0.11%	1,036 0.11%	1,038 0.11%

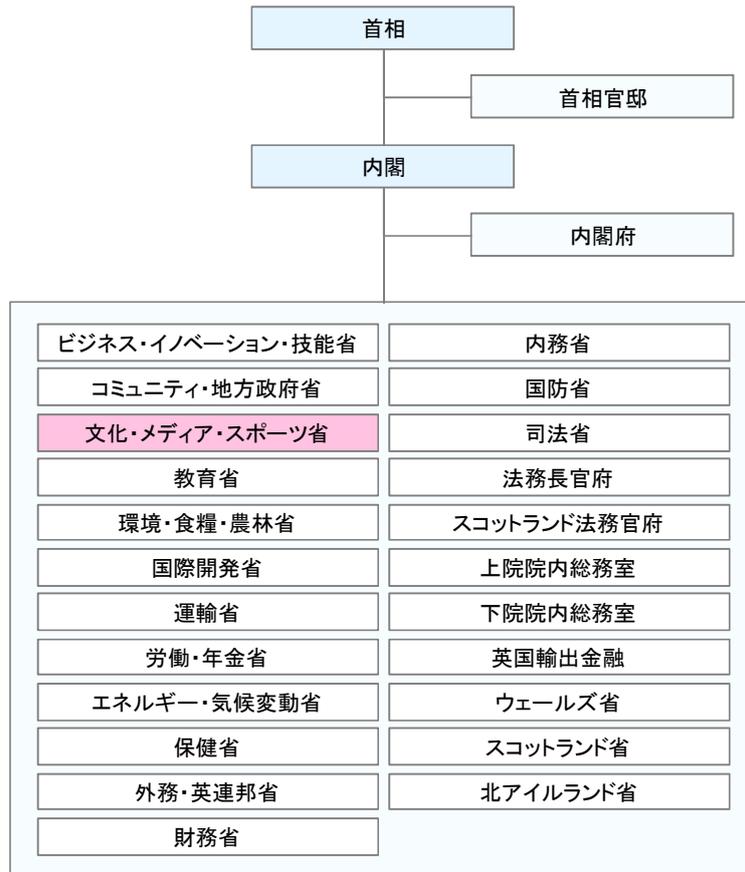
第3章 イギリスの文化予算

3-1. 政府の全体像

イギリス政府には、24 の閣内大臣が所管する省庁（Ministerial departments）と 19 の閣内大臣が所管しない省庁（Non-ministerial departments）、300 を超える政府機関（Agencies & other public bodies）が存在する。

文化を担当している文化・メディア・スポーツ省（Department for Culture, Media & Sport : DCMS）は閣内大臣が所管する省庁の 1 つとして位置付けられている。

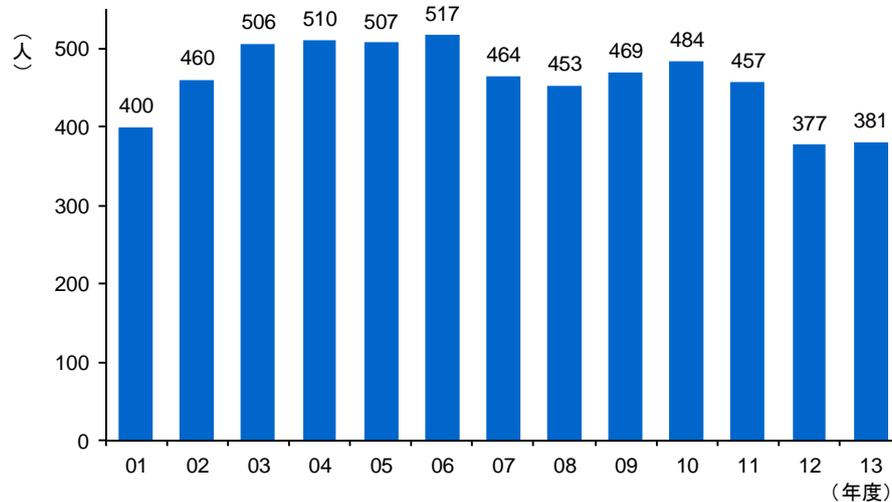
図表・8 イギリス政府の組織図（閣内大臣が所管する省庁のみ）



出所) イギリス政府 Web サイトを基に野村総合研究所作成

2014年3月時点のDCMSの人員数は381人である。2007年3月には517人が在籍していたが、2010年5月に保守党・自由民主党連立政権が成立した後はコスト削減の圧力を受け、人数が急減している。

図表・9 文化・メディア・スポーツ省（DCMS）の人員数の推移（※正規職員のみ）

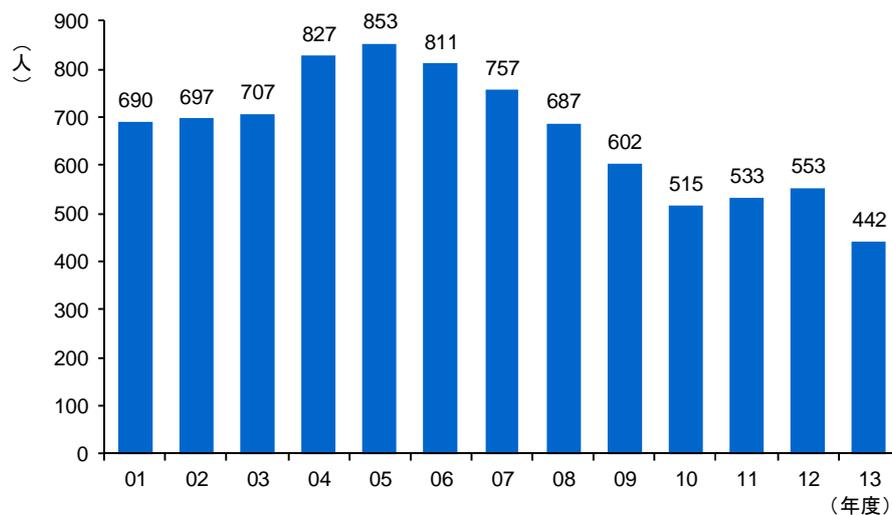


出所) 2001~2005年度はDCMS「Annual Report 2007」、2006~2011年度はDCMS「Annual Report and Accounts 2011-12」、2012~2013年度はDCMS「Annual Report and Accounts 2013-14」を基に野村総合研究所作成

DCMSの関連団体・機関のなかでアーツ・カウンシルは文化政策において最も重要な役割を担っている。予算面においても関連団体・機関の中で最大である。

アーツ・カウンシル・イングランドでは、2005年度の853人をピークとしてその後は大きく人員数が減少し、2011年度からは再度増加したものの、2013年度は再度減少し、442人となっている。

図表・10 アーツ・カウンシル・イングランドの人員数の推移^{6,7}



出所) 各年度のアーツ・カウンシル・イングランド「Annual review」を基に野村総合研究所作成

⁶ 「Grant-in-Aid accounts」と「Lottery distribution accounts」の合計数

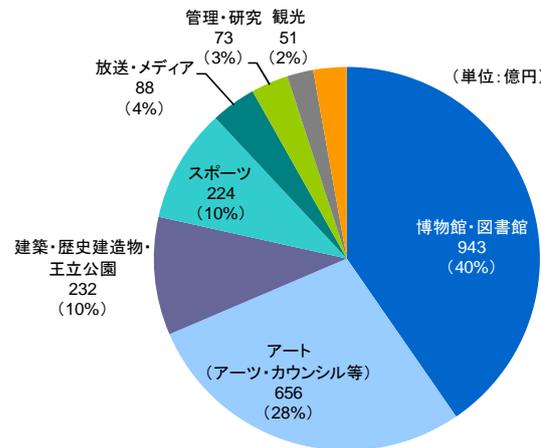
⁷ 2006~2013年度は臨時人員数（Agency Staff）を除いている（2001~2005年度の臨時人員数（Agency Staff）は不明）

3-2. 文化予算の概要

1)文化・メディア・スポーツ省

2015年度のDCMSの予算は£1,275百万(約2,333億円)である。内訳のうち最も大きな区分は「博物館・図書館」であり943億円(40%)が配分されている。

図表・11 文化・メディア・スポーツ省(DCMS)の予算の内訳(2015年度)^{8,9}



	£百万	億円	割合
博物館・図書館	516	943	40%
アート(アーツ・カウンシル等)	359	656	28%
建築・歴史的建造物・王立公園	127	232	10%
スポーツ	122	224	10%
放送・メディア	48	88	4%
管理・研究	40	73	3%
観光	28	51	2%
その他	36	65	3%
合計	1,275	2,333	100%
うち文化関連予算	1,089	1,992	85%

出所) DCMS 「Annual Report and Accounts 2013-2014」を基に野村総合研究所作成

⁸ DCMSの予算は「Resource DEL (Departmental Expenditure Limit)」、「Resource AME (Annually Managed Expenditure)」、「Capital DEL (Departmental Expenditure Limit)」、「Capital AME ((Annually Managed Expenditure))」の4つの区分に分かれているが、本調査では「Resource DEL (Departmental Expenditure Limit)」のみを対象としている。

⁹ 前回調査時はDCMS「Business Plan 2012-2015」を基に作成したが、本調査時点で同様の資料の最新版が公開されていないため、前回調査時と異なる資料(DCMS「Annual Report and Accounts 2013-2014」)を基に作成した。

これらの費目のうち、文化予算を「博物館・図書館」、「アート（アーツ・カウンシル等）」、「建築・歴史的建造物・王立公園」、「放送・メディア」、「管理・研究」の合計と定義すると、2015年度の文化予算は£1,089百万（1,992億円）となる。

これらの数値を基にすると、政府予算に占める文化予算の比率は0.15%となる。

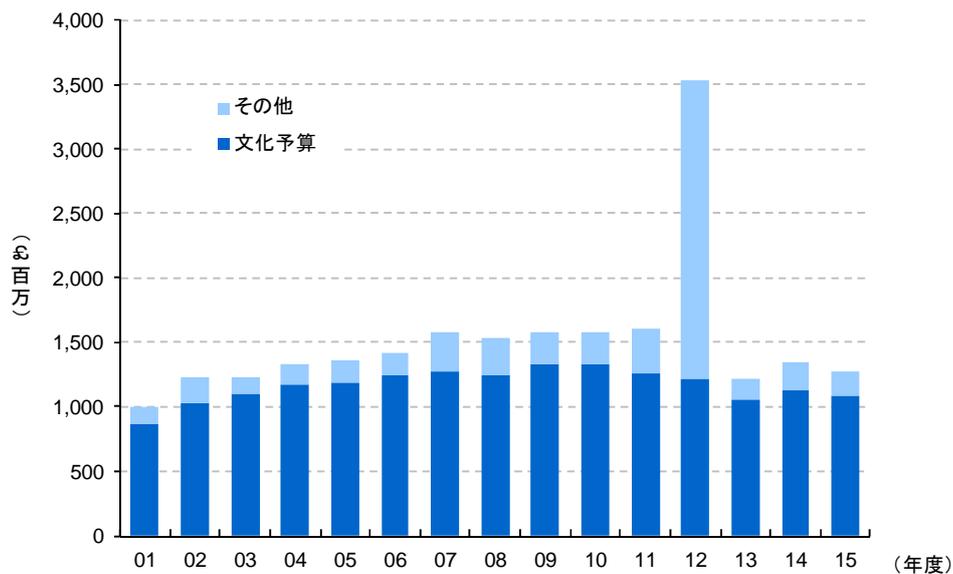
図表・12 各予算が政府予算に占める割合（2015年度）

		£百万	億円
各予算額	政府予算	743,000	1,358,873
	DCMS 予算	1,275	2,333
	文化予算	1,089	1,992
文化予算が政府予算に占める割合		0.15%	

出所) 財務省「Budget2014」、DCMS「Annual Report and Accounts For the year ended 31 March 2014」を基に野村総合研究所作成

また、DCMSの予算の推移をみると、オリンピックが実施された2012年度は予算が例年の倍以上となっている。文化予算の推移をみると、2001~2010年度までは2008年度を除いて増加傾向にあったが、2011年度からは減少傾向にある。

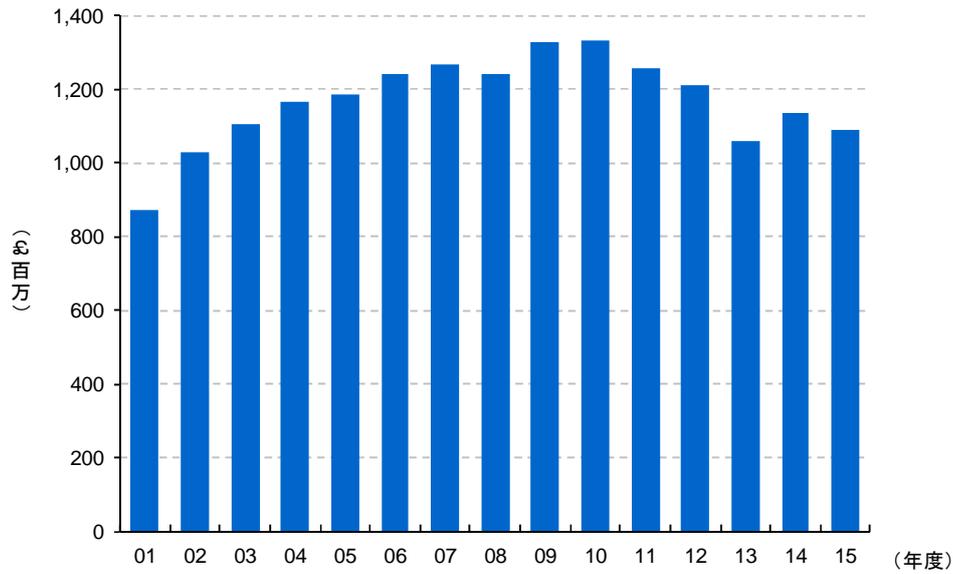
図表・13 文化・メディア・スポーツ省（DCMS）の予算の推移¹⁰



出所) 2001~2004年度の額はDCMS「Department for Culture Media and Sport Annual Report 2007」を基に、2005~2006年度の額はDCMS「Annual Report and Accounts 2010-11」を基に、2007~2015年度の額はDCMS「Annual Report and Accounts 2013-2014」を基に野村総合研究所作成

¹⁰ 2001~2013年度までは実績額、2014~2015年度は予算額である。

図表・14 イギリスの文化予算の推移¹¹



出所) 2001~2004 年度の額は DCMS 「Department for Culture Media and Sport Annual Report 2007」を基に、2005~2006 年度の額は DCMS 「Annual Report and Accounts 2010-11」を基に、2007~2015 年度の額は DCMS 「Annual Report and Accounts 2013-2014」を基に野村総合研究所作成

図表・15 イギリスの文化予算が政府予算に占める割合の推移



出所) 文化予算の2001~2004年度の額はDCMS「Department for Culture Media and Sport Annual Report 2007」を基に、2005~2006年度の額はDCMS「Annual Report and Accounts 2010-11」を基に、2007~2015年度の額はDCMS「Annual Report and Accounts 2013-2014」を基に、政府予算の2001~2008年度の額は財務省「Budget2010」を基に、2009年度以降の額は財務省の各年度の「Budget」を基に野村総合研究所作成

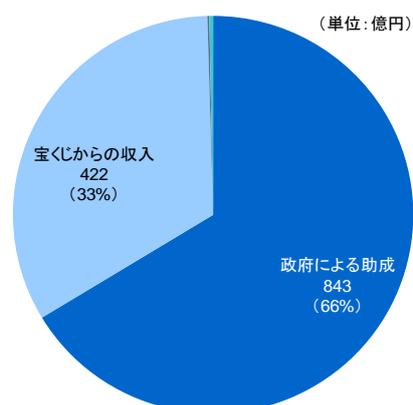
¹¹ 2001~2013年度までは実績額、2014~2015年度は予算額である。

2)アーツ・カウンシル

イギリスに存在する4つのアーツ・カウンシルのうちアーツ・カウンシル・イングランドの支出額は突出して大きい¹²。

アーツ・カウンシル・イングランドでは、2013年度の収入£695百万（1,270億円）のうち、66%は政府による助成から、33%は国営宝くじから得ている。

図表・16 アーツ・カウンシル・イングランドの収入（2013年度）



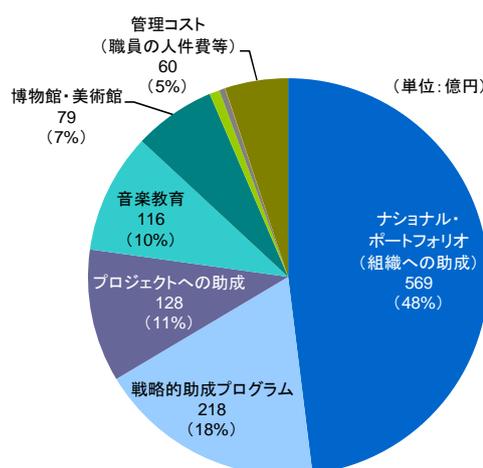
	£百万	億円	割合
政府による助成	461	843	66%
宝くじからの収入	231	422	33%
分配資金	1	2	0.2%
その他の収入	2	4	0.3%
合計	695	1,270	100%

出所) アーツ・カウンシル・イングランド「Arts Council England Grant-in-Aid and Lottery distribution annual report and accounts 2013/14」を基に野村総合研究所作成

¹² 各アーツ・カウンシルの予算規模については、前回調査に掲載しているため、同調査を参照のこと。

2013年度のアーツ・カウンシル・イングランドの支出のうち、48%（569億円）は「ナショナル・ポートフォリオ」に配分されている。「ナショナル・ポートフォリオ」ではイングランド全土の696の組織を対象として継続的な助成を行っている。「戦略的助成プログラム」には18%（218億円）が配分されており、アーツ・カウンシル・イングランドのミッションを達成するために重要な特定の分野を都度設定し助成を行っている。「プロジェクトへの助成」には11%（128億円）が配分されており、組織が行う特定のプロジェクトや作家などの個人への助成を行っている¹³。

図表・17 アーツ・カウンシル・イングランドの支出（2013年度）¹⁴



	£ 百万	億円	割合
ナショナル・ポートフォリオ (組織への助成)	311	569	48%
戦略的助成プログラム	119	218	18%
プロジェクトへの助成	70	128	11%
音楽教育	63	116	10%
博物館・美術館	43	79	7%
文化教育	5	10	1%
図書館	3	6	0.5%
その他の助成	0.1	0.2	0.02%
管理コスト (職員の人件費等)	33	60	5%
合計	648	1,185	100%

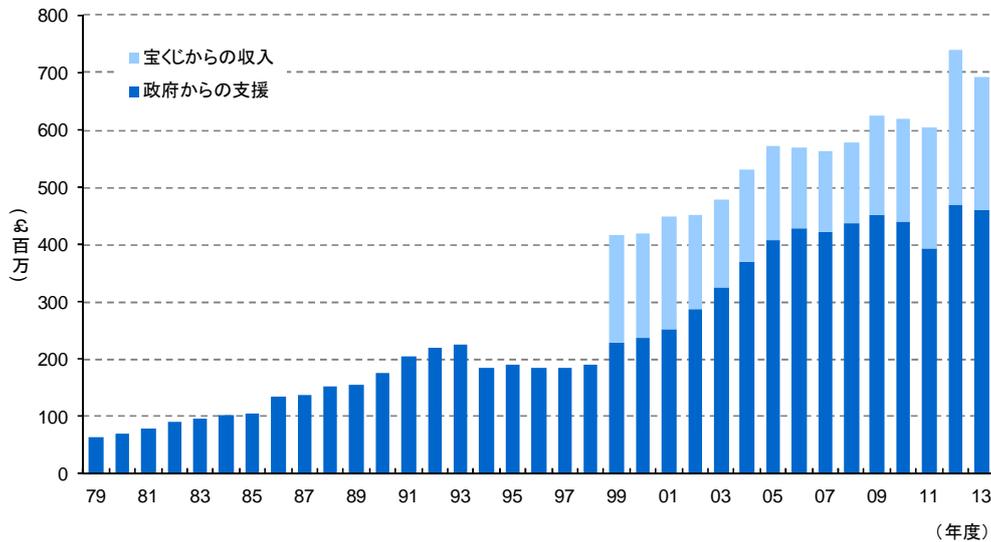
出所) アーツ・カウンシル・イングランド「Arts Council England Grant-in-Aid and Lottery distribution annual report and accounts 2013/14」を基に野村総合研究所作成

¹³ 各助成プログラムの概要については、前回調査に掲載しているため、同調査を参照のこと。

¹⁴ 他の組織と共同で実施しているプログラムも含まれるため、アーツ・カウンシル・イングランドの実際の支出（643百万ポンド）よりも支出額が多くなっている。

アーツ・カウンシル・イングランドの予算は、2009年まで長いあいだ拡大傾向にあった。特に、1994年に国営宝くじが復活した後は急増している。保守党・自民党の連立政権下（2010年～）になってから予算は減少したものの、オリンピックが開催された2012年には大幅に増加している。

図表・18 アーツ・カウンシル・イングランドの予算の推移^{15・16・17}



出所) 1979~1998年度の値は菅伸子「英国公的機関の芸術援助のあり方」(地域創造 Spring2000 vol.8)、1999年度以降はアーツ・カウンシル・イングランドの各年度の「Annual review」を基に野村総合研究所作成

¹⁵ 1994~1998年度のあいだも宝くじからの収入が存在すると思われるが、情報の取得ができなかった。

¹⁶ 「宝くじからの収入 (Share of the National Lottery Distribution Fund)」は「Lottery distribution accounts」の「Share of proceeds from the National Lottery Distribution Fund」の額を、「政府からの支援 (Grant-in-aid income)」は「Grant-in-aid accounts」の「Grant-in-Aid income」の額を採用している。

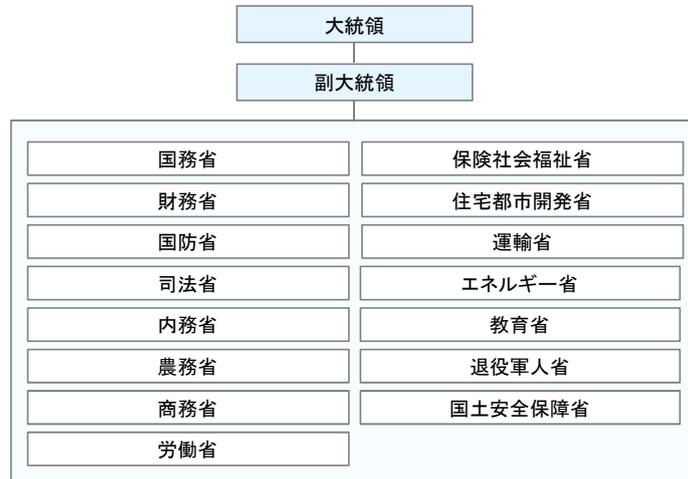
¹⁷ 宝くじからの収入 (Share of the National Lottery Distribution Fund)、政府からの支援 (Grant-in-aid income) 以外にも収入が存在するが、額が小さいため割愛している。

第4章 アメリカの文化予算

4-1. 政府の全体像

アメリカ連邦政府には大統領のもと様々な省庁が存在するが、文化を直接的に担当している省庁は存在しない。

図表・19 アメリカ連邦政府の組織図



出所) アメリカ政府 Web サイトを基に野村総合研究所作成

アメリカでは文化芸術の分野を所轄する部門は存在しないが、連邦政府の独立機関として1965年に連邦議会によって設立された全米芸術基金（National Endowment for the Arts: NEA）が存在している。NEAでは155人（プログラム担当58人、管理部門97人）の職員が従事している¹⁸。

また、そのほかに、連邦政府は機関を支援しており、文化芸術に係る組織として主にスミソニアン機構、博物館・図書館サービス機構、ナショナル・ギャラリー、ジョン・F・ケネディ・センターなどが挙げられる。

¹⁸ NEA Web サイトを基に野村総合研究所算出

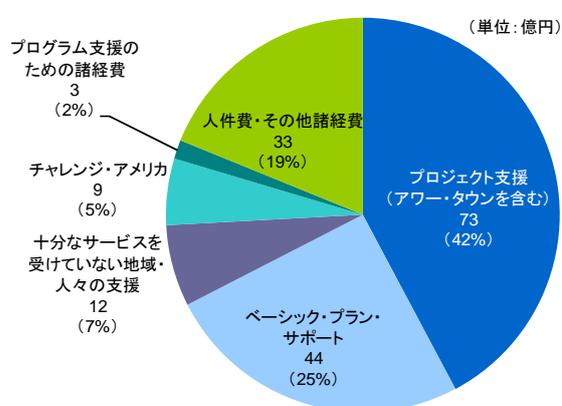
4-2. 文化予算の概要

1) 全米芸術基金

2014年度のNEAの予算は\$146百万（173億円）である。そのうち約8割がプログラムに、約2割がNEAの管理コストに振り分けられている。

プロジェクト支援で対象としているのは、作家による作品制作、パフォーマンスの巡回、芸術教育事業、重要な芸術作品の保管、作品制作や作品鑑賞における新技術の活用などである。チャレンジ・アメリカでは、地理的条件や民族性、経済状態などが障害となり芸術に触れる機会が制限されている人々に対する各種団体の芸術普及活動を支援している。

図表・20 全米芸術基金の予算の内訳（2014年度）



	\$百万	億円	割合
プログラム	116	138	80%
芸術組織に対する直接的な支援	70	83	48%
プロジェクト支援 (アワー・タウンを含む)	62	73	42%
チャレンジ・アメリカ	8	9	5%
州・地域のパートナーシップ	47	55	32%
ベーシック・プラン・サポート	37	44	25%
十分なサービスを受けていない地域・人々の支援	10	12	7%
プログラム支援のための諸経費	2	3	2%
人件費・その他諸経費	27	33	19%
合計	146	173	100%

出所) NEA 「Appropriation Request For Fiscal Year 2015」を基に野村総合研究所作成

2014年度及び2015年度のNEA予算が政府予算に占める文化予算の比率は0.004%となっている。

図表・21 全米芸術基金の予算が政府予算に占める割合（2014年度）

		\$百万	億円
各予算額	政府予算	3,650,526	4,335,730
	NEA 予算	146	173
政府予算に占める割合		0.004%	

出所) アメリカ合衆国行政管理予算局 (Office of management and Budget) 「Fiscal year 2015 Historical tables Budget of the U.S. government」
NEA 「Appropriation Request For Fiscal Year 2015」を基に野村総合研究所作成

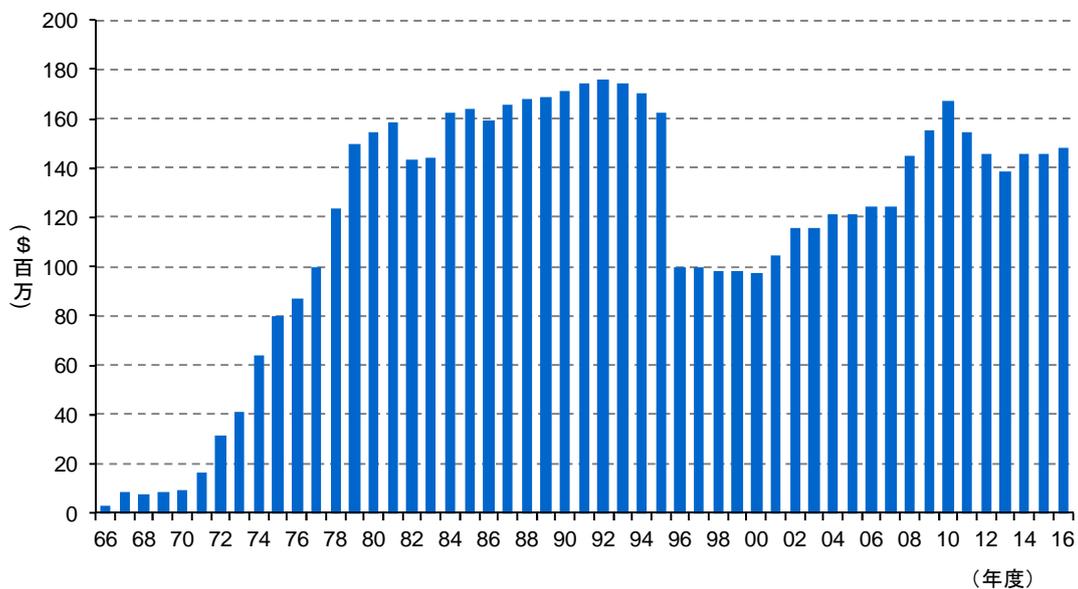
図表・22 全米芸術基金の予算が政府予算に占める割合（2015年度）

		\$百万	億円
各予算額	政府予算	3,900,989	4,633,205
	NEA 予算	146	173
政府予算に占める割合		0.004%	

出所) アメリカ合衆国行政管理予算局 (Office of management and Budget) 「Fiscal year 2016 Historical tables Budget of the U.S. government」
NEA 「Appropriation Request For Fiscal Year 2015」を基に野村総合研究所作成

NEAの予算は、1966年度の設立から1981年までのあいだ急激に増加してきた。1993年以降は議会でNEAの運営体質の問題点を指摘され予算が大幅に削減された。その後は、再び増加し現在では1980年台の水準に回復している。

図表・23 全米芸術基金の予算の推移^{19・20}



出所) NEA Web サイト及びNEA 「Appropriation Request For Fiscal Year 2015」を基に野村総合研究所作成

¹⁹ 1976年度は会計年度の変更を伴っているので参考値である。

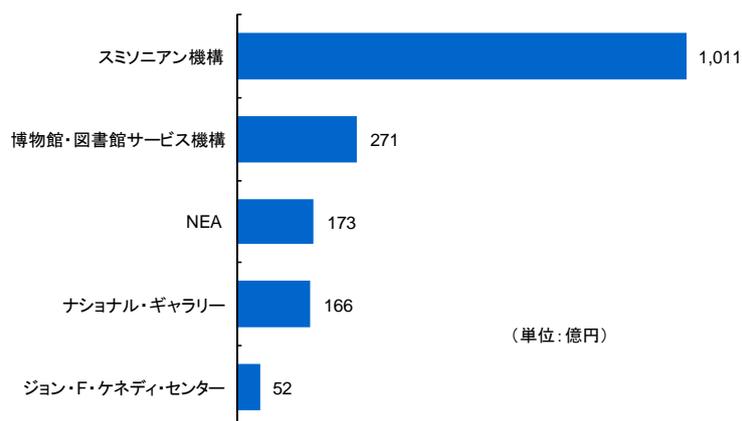
²⁰ 1966~2013年度は実績額、2014~2016年度は予算額である。

2)その他の文化組織

連邦政府はNEA以外にもスミソニアン機構や博物館・図書館サービス機構、ナショナル・ギャラリー、ジョン・F・ケネディ・センターなど様々な機関を支援している。

例えば、2015年度における、スミソニアン機構や博物館・図書館サービス機構への支援額はNEAへの支援額を上回っている。また、これら5つの機関への支援額は合計\$1,408百万(1,673億円)にのぼる。

図表・24 連邦政府による主要文化機関への支援額(2015年度)^{21・22}



	単位: \$百万	単位: 億円
スミソニアン機構	851	1,011
博物館・図書館サービス機構	228	271
NEA	146	173
ナショナル・ギャラリー	140	166
ジョン・F・ケネディ・センター	44	52
合計	1,408	1,673

出所) スミソニアン機構は Smithsonian Institution 「Fiscal Year 2015 Budget Justification to Congress」を基に、博物館・図書館サービス機構は Institute of Museum and Library Services 「Budget for FY2015 (Press Release)」を基に、NEA は NEA 「Appropriation Request For Fiscal Year 2015」を基に、ナショナル・ギャラリーは National Gallery of Art 「FY 2015 Congressional Budget Request」を基に、ジョン・F・ケネディ・センターは Department of the Treasury Internal Revenue Service 「Form 990」を基に野村総合研究所作成

NEAを含むこれら5組織への支援額が政府予算に占める割合は0.036%となっている。

図表・25 連邦政府による主要文化組織への支援額が政府予算に占める割合(2015年度)

		単位: \$百万	単位: 億円
各予算額	政府予算	3,900,989	4,633,205
	主要文化組織への支援額	1,408	1,673
政府予算に占める割合		0.036%	

出所) アメリカ合衆国行政管理予算局 (Office of management and Budget) 「Fiscal year 2014 Historical tables Budget of the U.S. government」等を基に野村総合研究所作成

²¹ 前回調査時はNEA「HOW THE UNITED STATES FUNDS THE ARTS」を基に作成したが、本調査時点で同様の資料の最新版が公開されていなかったため、前回調査時と異なる資料を基に作成した。

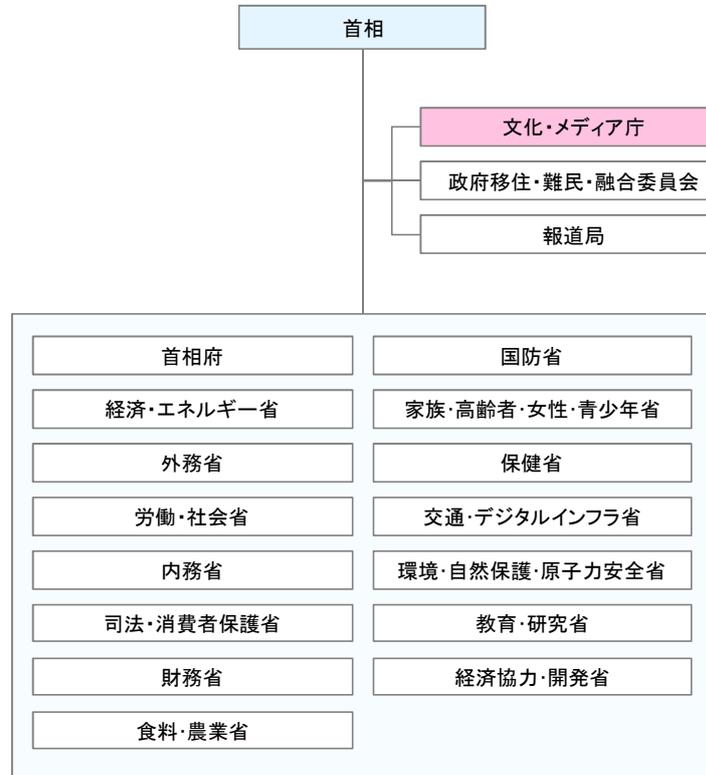
²² スミソニアン機構、博物館・図書館サービス機構、ナショナル・ギャラリー、NEAは各機関が公開している2015年度の予算額を基に作成した。ジョン・F・ケネディ・センターについては類似の資料が存在しないため、2013年度の財務省資料を基に作成している。

第5章 ドイツの文化予算

5-1. 政府の全体像

ドイツ連邦政府のなかでは文化・メディア庁（Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien : BKM）が文化政策を担当している。

図表・26 ドイツ連邦政府の組織図

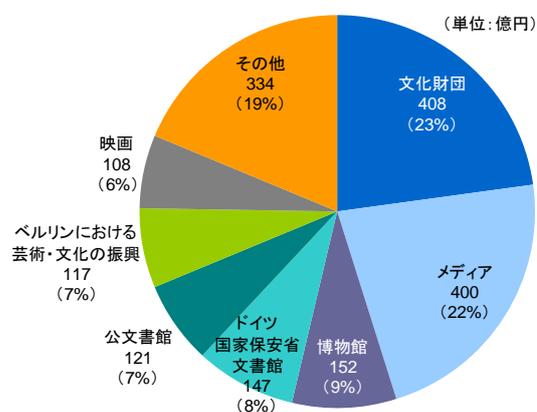


出所) ドイツ政府Web サイトを基に野村総合研究所作成

5-2. 文化予算の概要

2015年度の文化・メディア庁の予算は€1,321百万（1,788億円）である。内訳は、「文化財団」に関するものが最も多く（408億円、23%）、次いで「メディア」の予算も多い（400億円、22%）。

図表・27 文化・メディア庁の予算の内訳（2015年度）²³



	€百万	億円	割合
文化財団	301	408	23%
メディア	295	400	22%
博物館	113	152	9%
ドイツ国家保安省文書館	109	147	8%
公文書館	90	121	7%
ベルリンにおける芸術・文化の振興	87	117	7%
映画	80	108	6%
その他	247	334	19%
合計	1,321	1,788	100%

出所) 文化・メディア庁「Ausgaben der Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien im Jahr 2015」を基に野村総合研究所作成

2015年度における文化・メディア庁予算が政府予算に占める割合は0.44%となっている。

図表・28 文化・メディア庁の予算が政府予算に占める割合（2015年度）

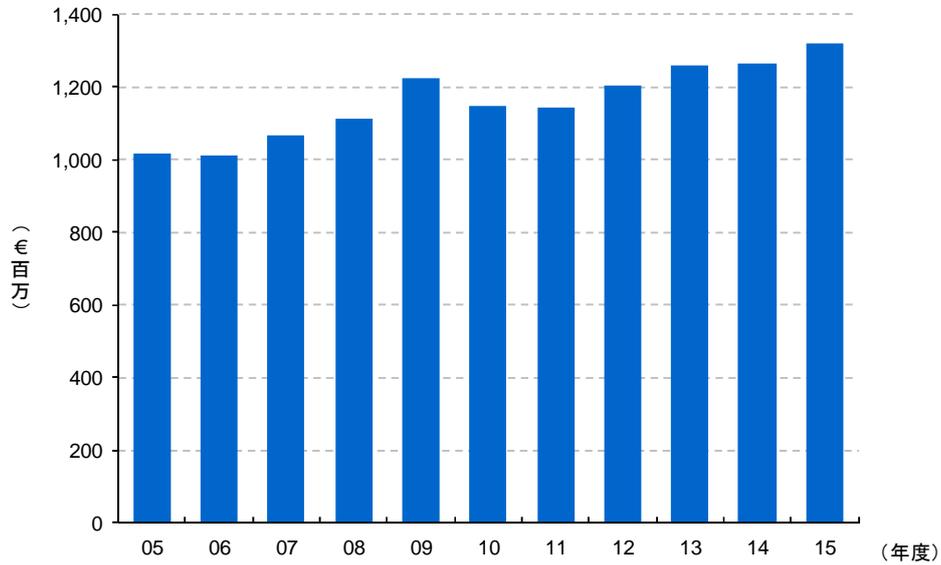
		€百万	億円
各予算額	政府予算	302,600	409,569
	文化・メディア庁予算	1,321	1,788
政府予算に占める割合		0.44%	

出所) 財務省「Overview of federal budgetary and financial data up to and including February 2015」、文化・メディア庁「Ausgaben der Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien im Jahr 2015」を基に野村総合研究所作成

²³ それぞれの内訳について割合が高いものは次のとおりである。「文化財団」：プロイセン文化財団、ドイツ連邦文化財団、「メディア」：ドイチェ・ヴェレ、「博物館」：ドイツ歴史博物館、ドイツ連邦歴史館財団、ドイツ連邦芸術展示館、「公文書館」：ドイツ連邦公文書館、「ベルリンにおける芸術・文化の振興」：ベルリンにおけるドイツ連邦主催文化事業、ユダヤ博物館、「映画」：ドイツ映画振興基金、「その他」：映画、歴史認識、ドイツ国立図書館、文化財の保存・保護、音楽など。

文化・メディア庁の予算は、2009年度まで増加傾向にあり、2009~2011年度のあいだには減少したが、2011年度以降は再度、ゆるやかな増加傾向にある。

図表・29 文化・メディア庁の予算の推移



出所) 1995~2009年度の値は Statistische Ämter des Bundes und der Länder 「Kulturfinanzbericht 2012」、2010~2011年度の値は文化庁「文化多様性の保護・促進に関する調査」(平成23年2月)、2012~2015年度の値は文化・メディア庁「Ausgaben des Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien」を基に野村総合研究所作成

図表・30 文化・メディア庁の予算が政府予算に占める割合の推移



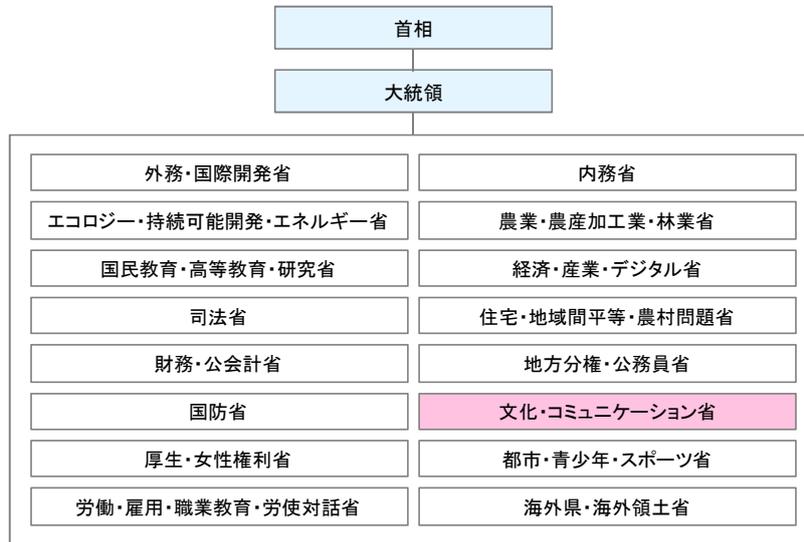
出所) 文化・メディア庁予算の1995~2009年度の値は Statistische Ämter des Bundes und der Länder 「Kulturfinanzbericht 2012」、2010~2011年度の値は文化庁「文化多様性の保護・促進に関する調査」(平成23年2月)、2012~2015年度の値は文化・メディア庁「Ausgaben des Beauftragten der Bundesregierung für Kultur und Medien」を基に、政府予算は各年度の財務省「Federal budget and fiscal policy key figures」を基に野村総合研究所作成

第6章 フランスの文化予算

6-1. 政府の全体像

フランス政府には16の省庁が存在し、文化・コミュニケーション省が文化政策を担当している。

図表・31 フランス政府の組織図

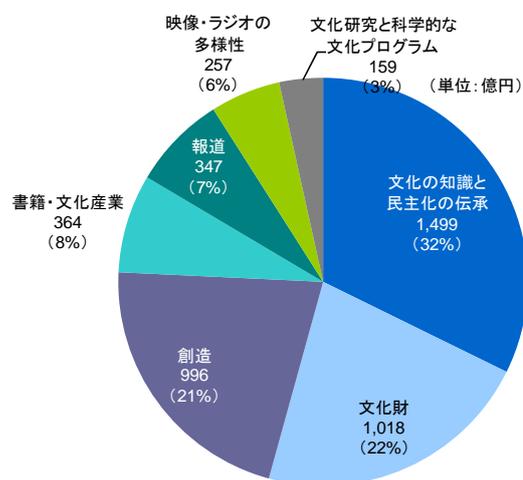


出所) フランス政府Webサイトを基に野村総合研究所作成

6-2. 文化予算の概要

2015年度の文化・コミュニケーション省の予算は€3,428百万(4,640億円)である。内訳として最も多いのは「文化の知識と民主化の伝承」(€1,108百万、1,499億円)であり、全体の32%を占めている。

図表・32 文化・コミュニケーション省の予算の内訳 (2015年度)



	€百万	億円	割合
文化の知識と民主化の伝承	1,108	1,499	32%
文化財	752	1,018	22%
創造	736	996	21%
書籍・文化産業	269	364	8%
報道	256	347	7%
映像・ラジオの多様性	190	257	6%
文化研究と科学的な文化プログラム	117	159	3%
合計	3,428	4,640	100%

出所) 文化・コミュニケーション省「Chiffres clés statistiques de la Culture 2015」を基に野村総合研究所作成

2015年度の文化・コミュニケーション省が政府予算に占める文化予算の比率は0.87%となっている。

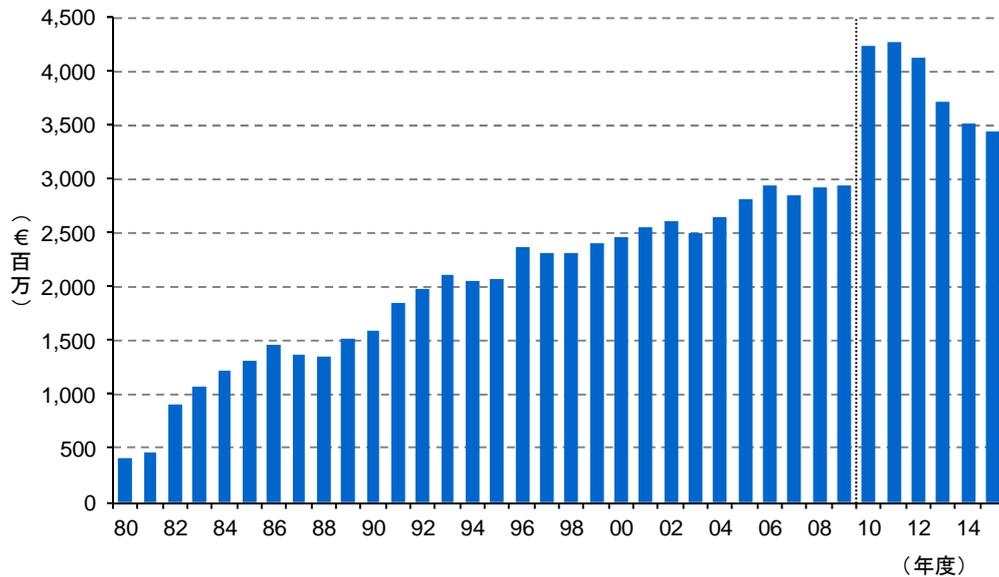
図表・33 文化・コミュニケーション省の予算が政府予算に占める割合 (2015年度)

		€百万	億円
各予算額	政府予算	395,617	535,468
	文化・コミュニケーション省予算	3,428	4,640
政府予算に占める割合		0.87%	

出所) 予算委員会 (Commission des finances) 「Projet de loi de finances pour 2015」、文化・コミュニケーション省「Chiffres clés statistiques de la Culture 2015」を基に野村総合研究所作成

文化・コミュニケーション省の予算は、長いあいだ増加傾向にあり、2010年度からは文化・コミュニケーション省の職務範囲が拡大したため、予算が急増している。しかし、2011年度以降は減少傾向にある。

図表・34 文化・コミュニケーション省の予算の推移



出所) 1980~2012年度の値は文化・コミュニケーション省「Chiffres clés statistiques de la Culture 2013」を基に、2013年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2014」を基に、2014~2015年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2015」を基に野村総合研究所作成

図表・35 文化・コミュニケーション省の予算が政府予算に占める割合の推移



出所) 文化・コミュニケーション省予算の1980~2012年度の値は文化・コミュニケーション省「Chiffres clés statistiques de la Culture 2013」を基に、2013年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2014」を基に、2014~2015年度の値は「Chiffres clés statistiques de la Culture 2015」を基に、政府予算は各年度の予算委員会 (Commission des finances) 「Projet de loi de finances」を基に野村総合研究所作成

第7章 中国の文化予算

7-1. 政府の全体像

中華人民共和国では文化行政を中央政府の部門のひとつである文化部が担当している。

図表・36 中国政府の組織図

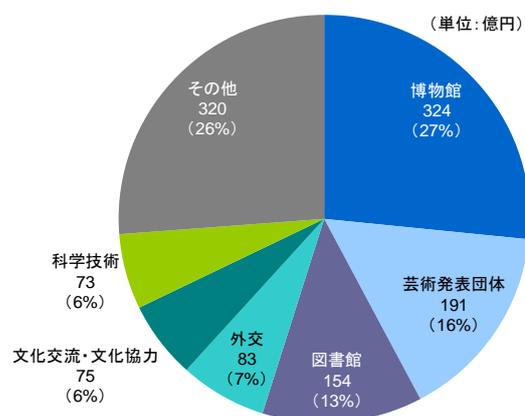


出所) 中華人民共和国中央人民政府Web サイトを基に野村総合研究所作成

7-2. 文化予算の概要

文化部の2015年度の予算は6,416百万元（1,219億円）である。文化・体育・メディアに振り分けられている予算のうち、最も多いのは「博物館」に対するもので1,708百万元（324億円）、次いで多いのが「芸術発表団体」に対するもので1,003百万元（191億円）である。

図表・37 文化部の予算の内訳（2015年度）



	百万元	億円	割合
博物館	1,708	324	27%
芸術発表団体	1,003	191	16%
図書館	809	154	13%
外交	439	83	7%
文化交流・文化協力	393	75	6%
科学技術	382	73	6%
その他	1,682	320	26%
合計	6,416	1,219	100%

出所) 文化部「2015年度部門予算」より野村総合研究所作成

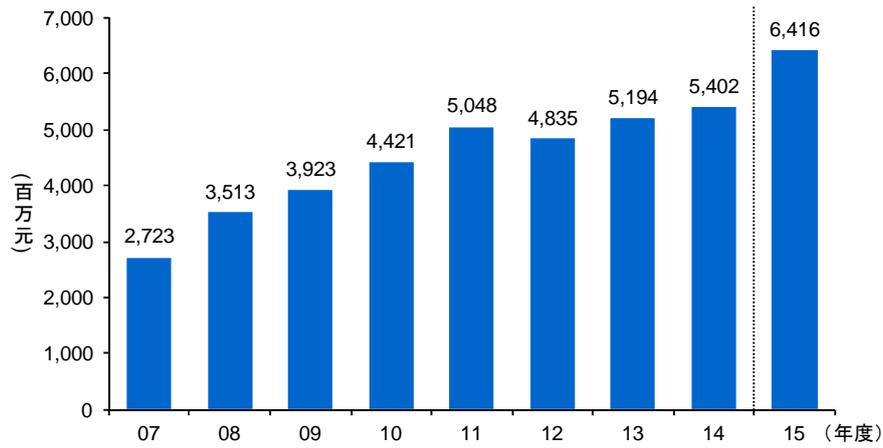
2015年度の文化部が政府予算に占める文化予算の比率は0.26%となっている。

図表・38 文化部の予算が政府予算に占める割合（2015年度）

		百万元	億円
各予算額	政府予算	2,501,200	427,614
	文化部予算	6,416	1,219
政府予算に占める割合		0.26%	

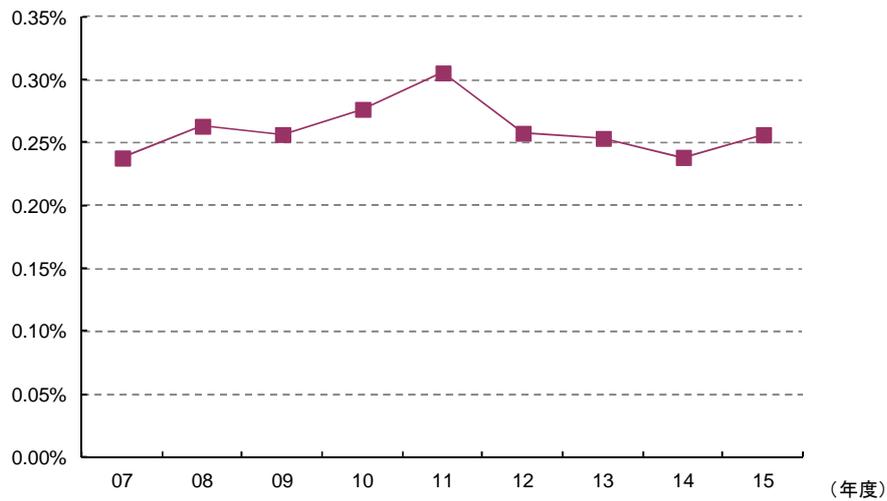
出所) 財政部「2015年中央本级支出预算表」, 文化部「2015年度部門予算」より野村総合研究所作成

図表・39 文化部の予算の推移²⁴



出所) 各年度の文化部「部門予算」を基に野村総合研究所作成

図表・40 文化部の予算が政府予算に占める割合の推移



出所) 文化部予算は各年度の文化部「部門予算」を基に、政府予算は各年度の財政部「中央本级支出预算表」を基に野村総合研究所作成

²⁴ 2015年度から予算の区分を変更しているので2007~2014年度の値と、純粋には比較できないことに留意されたい。

第8章 韓国の文化予算

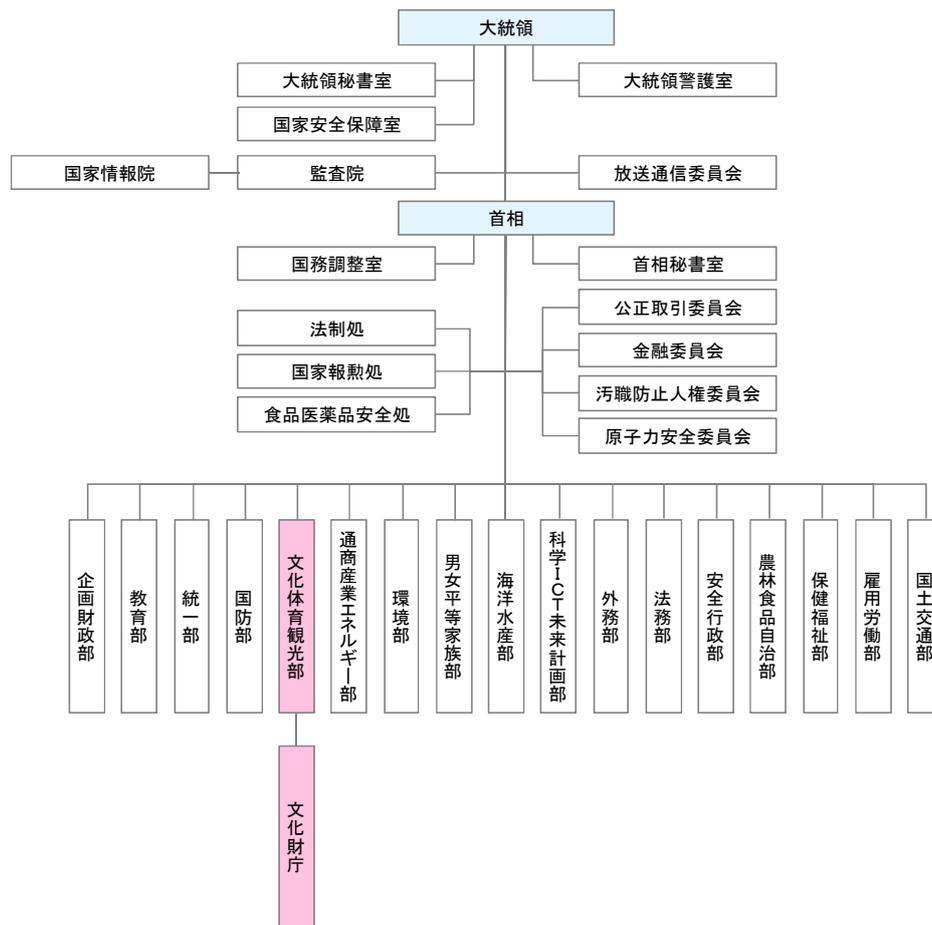
8-1. 政府の全体像

韓国の中央政府において、文化政策を担っているのは「文化体育観光部」である。文化体育観光部は韓国政府の17の部署のうちの一つで、文化、芸術、体育、観光、宗教、メディア、広報など様々な分野の政策を担当している。

また、文化体育観光部の傘下には「文化財庁」があり、文化遺産の保存と活用に係る政策を担当している。

文化体育観光部の本部には664人の職員が従事している²⁵。

図表・41 韓国政府の組織図



出所) 韓国大政府Webサイトを基に野村総合研究所作成

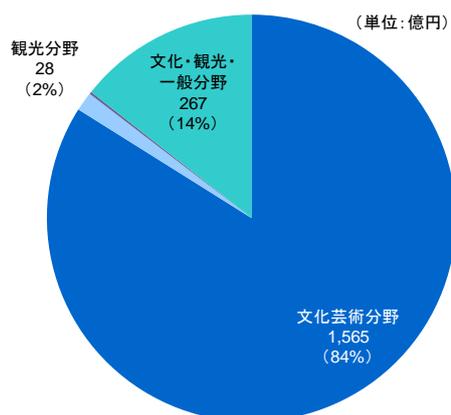
²⁵ 文化体育観光部「2015年度 資金運用計画」より。

8-2. 文化予算の概要

1)文化体育観光部

文化体育観光部の予算は「文化芸術分野」、「体育分野」、「観光分野」、「文化・観光・一般分野」の4つの分野から構成されている。2015年度の文化体育観光部の予算は1兆7,350億ウォン（1,865億円）である。

図表・42 文化体育観光部の予算の内訳（2015年度）²⁶



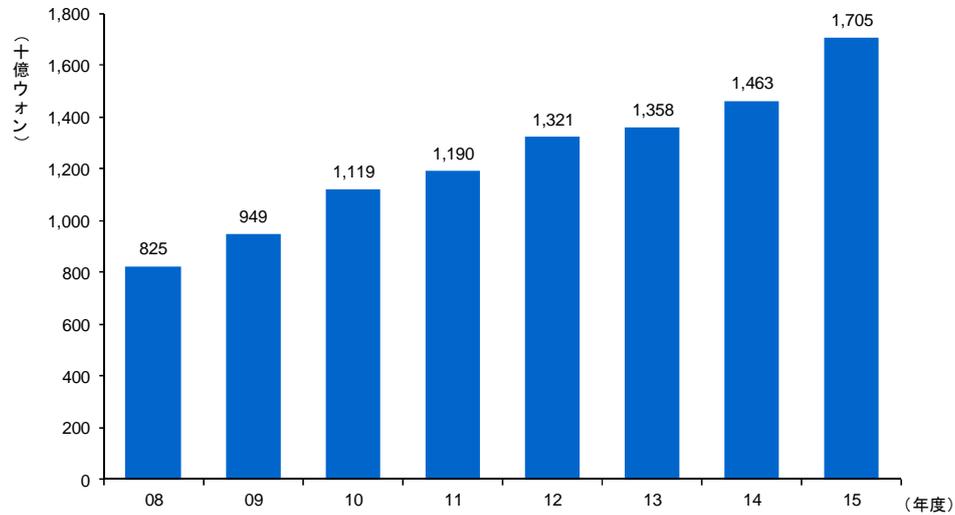
	十億ウォン	億円	割合
文化芸術分野	1,456	1,565	84%
観光分野	26	28	2%
体育分野	4	4	0.2%
文化・観光・一般分野	249	267	14%
合計	1,735	1,865	100%

出所) 文化体育観光部「2015年度 資金運用計画」を基に野村総合研究所作成

²⁶ 文化体育観光部の予算は「予算」と「基金」に分かれており、また、「予算」は「一般会計」と「特別会計」に分かれている。ここではこのうち「一般会計」のみの値を予算としている。

文化体育観光部の文化予算（「文化芸術分野」と「文化・観光・一般分野」を合算したもの）は、近年増加傾向にあり 2008~2015 年度のあいだに約 2 倍に増加している。

図表・43 文化体育観光部の文化予算の推移

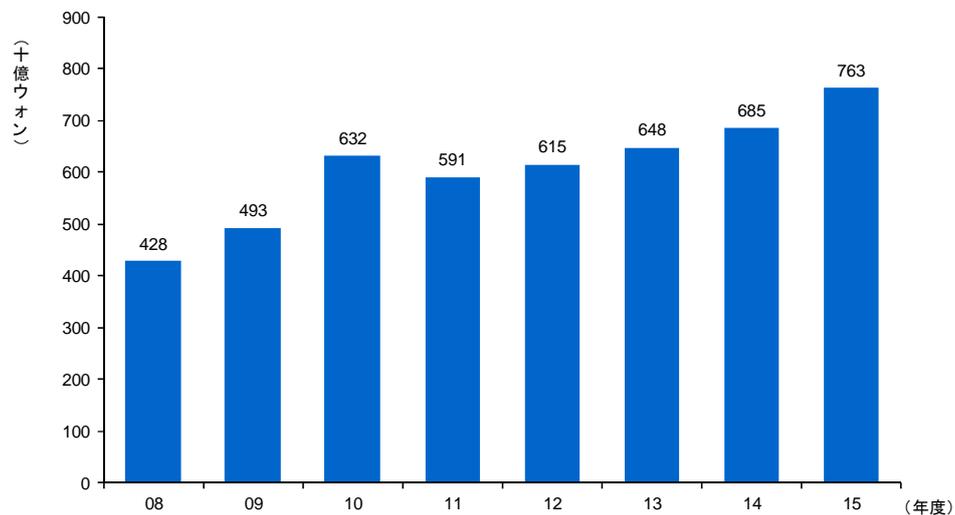


出所) 各年度の文化体育観光部「資金運用計画」を基に野村総合研究所作成

2)文化財庁

文化財庁の予算は2011年度以降継続して増加しており、2015年度の予算は7,630億ウォン（820億円）となっている。

図表・44 文化財庁の予算の推移



出所) 各年度の文化財庁「資金運用計画」を基に野村総合研究所作成

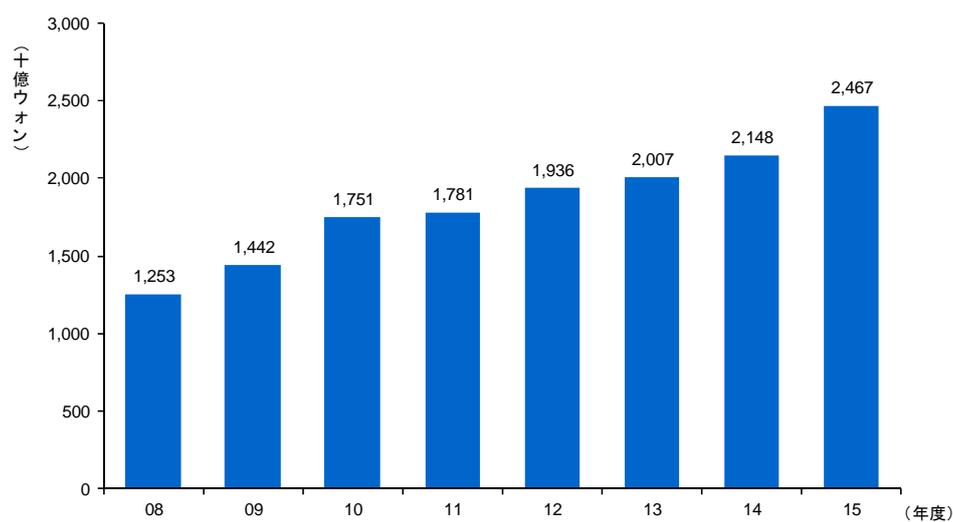
文化予算を文化体育観光部の文化予算（「文化芸術分野」と「文化・観光・一般分野」を合算したもの）と文化財庁の予算の合計と定義すると、2015年度の文化予算は2兆4,670億ウォン（2,653億円）となる。これらの数値を基にすると、2015年度の政府予算に占める文化予算の比率は0.99%となる。

図表・45 韓国の文化予算が政府予算に占める割合

		十億 ウォン	億円
各予算額	政府予算	249,100	267,783
	文化体育観光部（文化芸術予算）	1,705	1,833
	文化財庁予算	763	820
	文化予算	2,467	2,653
文化予算が政府予算に占める割合		0.99%	

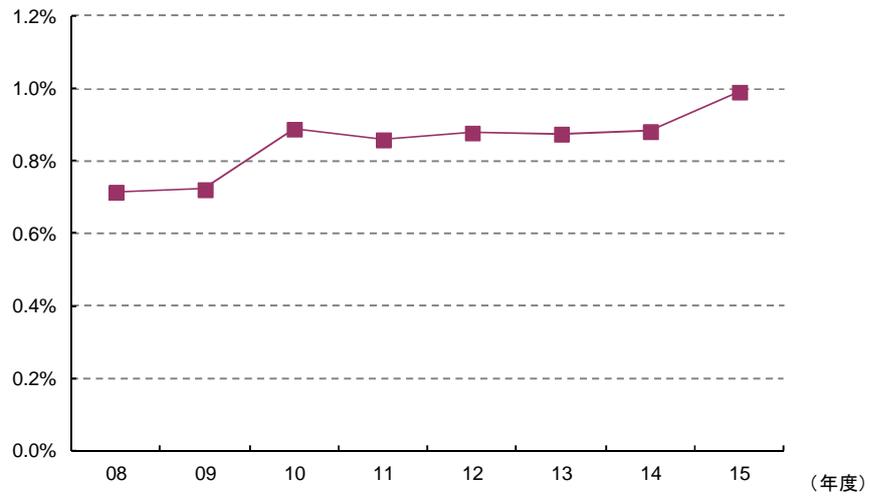
出所) 企画財政部「2015年予算案」、文化体育観光部「2015年度資金運用計画」、文化財庁「2015年度資金運用計画」を基に野村総合研究所作成

図表・46 韓国の文化予算の推移



出所) 各年度の文化体育観光部「資金運用計画」、文化財庁「資金運用計画」を基に野村総合研究所作成

図表・47 韓国の文化予算が政府予算に占める割合の推移



出所) 各年度の「文化体育観光部「資金運用計画」、文化財庁「資金運用計画」、企画財政部「2015年予算案」を基に野村総合研究所作成

平成26年度 文化庁
諸外国の文化予算に関する調査 報告書

平成 27 年 3 月 31 日

■委託元

文化庁長官官房国際課 国際文化交流室
〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

■発行

株式会社野村総合研究所
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル



利用の際は必ず下記サイトを参照下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo